

科目名	電気電子基礎英語 I	英語科目名	Basic English for Electrical and Electronic Engineering I
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科 LR 3 年次
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	久保和良	居室 (もしくは所属)	電々棟 4 階
電話	内線 2 6 1	E-mail	kubo@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 英語による専門科目の習得ができること。なお、この授業で扱う専門科目とは、システム工学の基礎と、情報理論の基礎の意味である。	(4) (5) (6) ○		
2. 数式を英語で読めること。	(3) (6) ○		
3. 英語による一流のプレゼンテーションを聞き、そのポイントを理解できること。	(2) (6) ○		
4. ネイティブの感覚を学び、その体感的理解ができること。	(1) (6) ○		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1・2について、定期試験で設問に答えること。 3・4について、レポートによる評価または定期試験での設問に答えること。			
評価方法			
1～4について、各評価すべてが合格していることを以て、本科目の合格とする。			
授業内容			
<p>※おおむね次の内容を学びます。理解度や要望を受けて時間を増減したり、項目を入れ替えたりすることがあります。なお、各箇条項目は、逐次的に実施するのではなく、1 回の授業中に複数の箇条項目を実施する予定である。また、多くの場合、可能な限り視聴覚教材を積極的に利用する。</p> <p>1. 英語による下記専門科目の授業 (概ね 4 週相当) システム工学の基礎、ノバートウィナーの原著サイバネティックスの選択的読解、ほか 情報理論の基礎、シャノンの原著情報理論の選択的読解、ほか その他、適切と思われる原著論文等から選択的にトピックスを選択して読解することがある。</p> <p>2. 英語による数式の読み方 (概ね 3 週相当) 教科書から選択的に重要な部分を学ぶ。</p> <p>3. 一流プレゼンテーションの視聴と理解 (概ね 5 週相当) TEDプレゼンテーションその他の視聴覚教材を活用して、一流と言われるプレゼンテーションの視聴 例えば、「学校教育は創造性を殺している」、「計画を立てることは命とりである」、 「BIにおけるビジネスモデル、周到な準備や計画をやめてエンジニア主導型の活動」ほか。</p> <p>4. ネイティブの感覚とその体感的理解 (概ね 3 週) 大西モデルによるネイティブの感覚を、洋楽視聴覚教材を楽しみながら身に着ける。</p>			
キーワード	技術者英語、数式の英語、システム工学、情報理論、一流プレゼンテーション、ネイティブの感覚		
教科書	(1) 銀林浩, 銀林純: 基礎からわかる数・数式と図形の英語, 日興企画(1999)		
参考書	その都度紹介します。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	中学校での英語、高専での英語、エンジニアリングイントロダクション		
現学年の関連科目	電気電子基礎英語 II		
次年度以降の関連科目	全ての専門科目, 英語科目		
連絡事項			
<p>1. 技術者として、英語と向かい合うコツを紹介します。したがって、英語といかに親しんだかにより、評価点数が上がります。</p> <p>2. 講義は理解を高めるように単元ごとに完結するように実施します。宿題や課題等により、総合的に学修時間は補償しますが、毎回の授業時間に長短があり、終了時刻は一定しないことを理解して下さい。</p> <p>3. LRクラス別個に、理解度を確認しながら授業を進めます。したがって、両者の授業進度には差が出ることを理解して下さい。</p>			
シラバス作成年月日	2015 年 2 月 27 日		